

空圧・油圧・真空

直動システム・関連

ロボット・FA

制御・検出・計測

5 駆動・回転

軸受・素材・機械

動力伝達・伝動

搬送・運搬

ポンプ・送風機・粉体

工場設備・環境



X200シリーズインバータ

- 設置環境によって発生するさまざまなノイズを低減するフィルタを内蔵。またトリップレス機能により優れた安定性を実現します。
- ファン・ポンプなどの省エネに有効な自動省エネ機能を新たに搭載しました。もちろん大幅なランニングコストの削減に貢献します。
- 冷却ファンの部品交換がドライバーなしで行えます。また、サイド・バイ・サイド設置が可能。インバータを密着設置して、機器の省スペース化が可能です。
- RS485 ModbusRTU対応の通信ポートを標準装備。最適な通信ネットワークソリューションが実現できます。

X200シリーズ(三相200V級)X(三相400V級)仕様および価格

保護構造：IP20

型 式	三相200V級						三相400V級					
	002LFRF	004LFRF	007LFRF	015LFRF	022LFRF	037LFRF	004HFRF	007HFRF	015HFRF	022HFRF	037HFRF	
価格(200V級/400V級)	51,000	57,600	68,400	89,800	104,000	126,000	104,500	116,000	128,500	166,000	198,000	
出力 定格	標準適用電動機(kW)	0.2	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7
	定格容量(kVA)	200V/400V 240V/480V	0.4	0.9	1.3	2.4	3.4	5.5	1.0	1.7	2.6	3.8
定格出力電流(A)		0.5	1.0	1.6	2.9	4.1	6.6	1.2	2.0	3.1	4.5	7.1
過負荷電流定格		1.4	2.6	4.0	7.1	10.0	15.9	1.5	2.5	3.8	5.5	8.6
定格出力電圧(V)		150%、1分間						150%、1分間				
定格入力交流電圧/周波数		三相200～240V(入力電圧に依存)						三相380～480V(入力電圧に依存)				
入力電圧/周波数許容変動範囲		電圧：+10%、-15%、周波数：±5%						電圧：+10%、-15%、周波数：±5%				
電源設備容量(kVA)		0.8	1.5	2.5	4.0	5.4	9.0	1.5	2.5	4.0	5.4	9.0
冷却方式		自冷			強制空冷			自冷		強制空冷		
概略質量(kg)		0.8	0.9	1.1	2.2	2.4	2.4	1.5	2.3	2.4	2.4	2.4
復帰制御能力(コンデンサ帰還時)		約50%			約20～40%			約50%		約20～40%		

共通仕様

項目	仕様
制御方式	線間正弦波変調PWM方式
出力周波数範囲	0.5～400Hz
周波数精度	最高周波数に対し、デジタル指令±0.01%、アナログ指令±0.4%(25±10)
周波数分解能	デジタル指令：0.1Hz、アナログ指令：最高周波数/1000
電圧/周波数特性	V/f特性(定トルク特性、低減トルク特性)
加速時間・減速時間	0.01～3000秒(直線、S字) 第2加減速設定可
キャリア周波数変更範囲	2.0～12.0kHz
保護機能	過電流保護、過負荷保護(電子サーマル)、過電圧保護、EEPROMエラー、不足電圧保護、CPUエラー、外部トリップ、USP(復電再始動防止) 電源投入時地絡検出、受電過電圧保護、温度異常、Safe Stopエラー
仕様	入力インピーダンス約4.7k、シンク/ソースロジック切替可能5端子
入力端子機能	各端子に以下の機能を割り当て可能 FW(正転)、RV(逆転)、CF1(多段速1)、CF2(多段速2)、CF3(多段速3)、CF4(多段速4)、JG(ジョギング)、DB(外部直流制御)、SET(第2制御)、2CH(2段加減速)、FRS(フリーラン)、EXT(外部トリップ)、USP(USP機能)、SET(ソフトロック)、AT(アナログ入力切替)、RS(リセット)、PTC(サーミスタ)、STA(3ワイヤ起動)、STP(3ワイヤ停止)、F/R(3ワイヤ正逆)、PID(PID有効、無効)、PIDC(PID積分リセット)、UP(遠隔操作増速)、DWN(遠隔操作減速)、UDC(アップダウンクリア)、OPE(強制オペ)、ADD(周波数加算)、F-TM(強制端子台)、RDY(運転準備)、SP-SET(特別設定)、EMR(Safe Stop)
	オープンコレクタ出力：27V DC50mA max、1端子 リレー出力：1c出力 250V AC/30V DC2.5A 1系統(ALO-AL1、ALO-AL2)
出力端子	各端子より以下のいずれかを出力可能： 運転中信号、周波数到達1、周波数到達2、過負荷予告信号、PID偏差過大信号、アラーム信号、アナログ入力断線検出、PIDフィードバック値、ネットワークエラー、ロジック計算結果、通信ウォッチドックエラー、低電流検出
	アナログ出力端子 仕様：0～10V DC(分解能10bit) 機能：出力周波数、出力電流のいずれかを出力可能
表示部仕様	4桁7セグメントLED
操作パネル	以下のいずれかをモニタリング可能 パラメータ設定、トリップ表示、出力周波数、出力電流、出力周波数変換、インテリジェント入出力端子状態、運転方向、PIDフィードバック、トリップ内容、トリップ履歴、運転時間積算、通電時間積算、直流電圧モニタ、電子サーマルモニタ、冷却フィン温度モニタ
ステータスLED	POWER、ALARM、RUN、PRG、Hz、A、RUNキー有効表示、周波数設定ボリューム有効表示の8種類
操作部	周波数設定ボリューム、RUNキー、STOP/RESETキー、アップキー、ダウンキー、FUNCキー、STRキー
操作/停止方法	周波数設定方法 標準オペレータ：アップ/ダウンキーによる設定または本体ボリュームによる設定 外部信号：0～10Vまたは4～20mA入力 通信入力：RS-485ポート(Modbus RTU)
	正・逆転、運転/停止方法 標準オペレータ：運転キー/停止キー 外部信号：正転・逆転をインテリジェント入力端子に割り付け可能 通信入力：RS-485ポート(Modbus RTU)

